

作成年月日	令和3年4月12日
作成課室名	企画県民部 政策調整課

令和3年度 本庁部局・県民局・県民センターの重点目標

新型コロナウイルス感染症の国内発生から1年余り。感染再拡大により4月1日、まん延防止等重点措置実施区域に指定された。人々の生命と暮らしが深刻な危機にさらされている。感染防止対策を徹底するとともに、県民の暮らしと経済・社会活動の安定に総力を挙げて取り組む。

あわせて、コロナを乗り越えた先にある兵庫の姿を描き、その具体化の道筋をつけないといけない。ポストコロナ時代を見据えた新しい兵庫づくりに向けて、各部局等の重点目標を設定する。

○ 新型コロナウイルス感染症対策関連の重点目標

- 1 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置・運営し、医療・検査体制の強化のほか、外出自粛や感染防止対策の徹底の要請など、県民・事業者の協力を得ながら感染拡大の防止に全庁一丸となって取り組む。[防災]
- 2 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、入院病床や宿泊療養施設を確保するとともに、社会福祉施設、医療機関で陽性者が確認された場合、幅広く検査を実施し、クラスター化の防止を図る。[健康福祉部]
- 3 県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、新型コロナウイルス感染症拠点病院である加古川医療センター、新型コロナウイルス感染症重症等特定病院である尼崎総合医療センターを中心に、重症者対策の強化を図るとともに、第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況等を踏まえ、患者受入等を実施する。
また、加古川医療センターの臨時重症専用病棟の活用、院内感染防止策の推進等、感染患者の積極的な受入に全力で取り組む。[病院局]
- 4 ワクチン接種については、医療従事者等への接種体制や副反応にかかる専門相談体制の確保、市町が行う住民接種への支援など、円滑に接種を実施できる体制を構築する。
[健康福祉部]
- 5 新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している方に対して、生活福祉資金の特例貸付を実施するほか、生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度により、機動的かつ弾力的に支援を行う。[福祉部長]
- 6 コロナ禍に対応し、融資制度の充実等により、中小企業者の資金繰り支援に万全を期すとともに、感染拡大防止のため、時短協力金の適切な支給を進める。あわせて飲食店のテイクアウトなどの新事業展開支援や商店街お買い物券等、消費喚起策を実施する。[産業労働部]
- 7 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた県の対処方針や対策を、的確な広報媒体を活用して効果的に発信するとともに、全庁を挙げた県民・事業者等への積極的な情報発信を推進する。[企画県民部]

(頁)

1	企画県民部	……	1
2	政策創生部長	……	2
3	県民生活部長	……	3
4	防災部局	……	4
5	健康福祉部	……	5
6	福祉部長	……	6
7	産業労働部	……	7
8	農政環境部	……	8
9	環境部長	……	9
10	県土整備部	……	10
11	まちづくり部長	……	11
12	企業庁	……	12
13	病院局	……	13
14	教育委員会	……	14
15	神戸県民センター	……	15
16	阪神南県民センター	……	16
17	阪神北県民局	……	17
18	東播磨県民局	……	18
19	北播磨県民局	……	19
20	中播磨県民センター	……	20
21	西播磨県民局	……	21
22	但馬県民局	……	22
23	丹波県民局	……	23
24	淡路県民局	……	24

令和3年度 企画県民部の重点目標

重点目標 1 行財政運営方針に基づく適正な行財政運営等

- 1 持続可能な行財政構造を保持し、適切な行財政運営を推進するため、「行財政の運営に関する条例」に基づく、行財政運営方針の3年目の見直しにおいて、財政フレームをはじめ十分検証し、必要な見直しを行う。
- 2 県行政の業務プロセスの抜本の見直しや仕事の進め方の見直し等を実施し、県民等の利便性向上と職員の業務効率化を図る業務改革を推進する。
- 3 「兵庫県内部管理基本方針」に基づき、財務に関する事務の適正な管理及び執行を図る。また、令和2年度の整備・運用状況の評価を行い、監査委員の意見を付した内部管理評価報告書を県議会に提出し、公表する。

重点目標 2 県政を担う人材の育成と働き方改革の推進

- 1 職員の政策形成能力向上、能力開発に取り組むとともに、キャリア形成を意識した人事配置や適切な人事評価を行い、能力・意欲ある職員を積極的に登用する。併せて、女性職員の登用・活躍促進に取り組む。
- 2 適切な公文書管理、電子決裁の推進、ペーパーレス・ストックレスの推進や、テレワークなど時間と場所を有効活用する多様な働き方の促進など、行政のデジタル化の動向等を踏まえた新しい働き方の推進に取り組む。
- 3 「県庁ワーク・ライフ・バランス取組宣言」に基づき、超過勤務の縮減、男性職員への育児休業の取得促進等の子育て・介護と仕事の両立支援などに取り組む。

重点目標 3 戦略的広報の展開と県民との情報共有の推進

- 1 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた県の対処方針や対策を、的確な広報媒体を活用して効果的に発信するとともに、全庁を挙げた県民・事業者等への積極的な情報発信を推進する。
- 2 ホームページのリニューアルや SNS 戦略の推進など媒体の特性を活かした情報発信を行うとともに、五国交流事業等と連携した U5H プロジェクトを展開し、県内交流や県外への魅力発信を促進する。
- 3 専門人材を登用し、広報物の品質向上、実践的な研修、報道番組等へのパブリシティ活動の強化を図るとともに、クリエイティブ room を設置するなど、更なる全庁広報力の充実強化を図る。
- 4 県民意識調査や県民モニター調査、さわやか提案箱等を通じ、県民の意見・提言を県政に適切に反映する。

重点目標 4 兵庫県立大学・専門職大学運営への支援と私学教育の振興

- 1 兵庫県立大学と芸術文化観光専門職大学について、両大学の特色や独自性を確保した上で、教育・研究・社会貢献の各分野における高度化や相乗効果を生み出すため、一法人複数大学制による効率的な経営を支援する。
- 2 兵庫県立大学においては、姫路工学キャンパスや医産学連携拠点の整備などの大学改革のほか、附属学校の中学生の入寮に対応した運営体制の構築などを支援する。
- 3 芸術文化観光専門職大学においては、芸術文化と観光の双方の視点を生かした教育・研究、大学を核とした地域連携による社会貢献の推進を支援し、地域と世界で活躍する人材教育拠点の形成に取り組む。
- 4 私立学校への経常費補助の充実や、県独自の授業料軽減補助の拡充等を通じて、私学教育の振興を図る。

重点目標 5 市町と連携した施策展開・市町連携の促進等

- 1 県・市町懇話会や兵庫県・神戸市調整会議等を活用し、地域の課題について協議及び意見交換を行い、県及び市町がそれぞれの役割や機能を果たしながら連携を一層密にし、相互に効率的、効果的な施策展開を図る。
- 2 「市町連携のあり方研究会」での議論等を踏まえ、AI・RPA等の共同導入、図書館ネットワーク拡充に向けた環境整備、公共施設の共同運用等、各市町の状況・目的に応じた効果的な市町連携を促進する。
- 3 マイナンバーカードの県民や県・市町職員等の取得促進に向け、カード取得メリット等の積極的な周知広報を実施するとともに、市町連携事業や県独自の利活用方策の推進等により、マイナンバーの利活用を促進する。

重点目標 6 地方分権の推進

- 1 コロナ禍において重要性が浮き彫りになった地方分権の実現に向け、国から地方への大括りの事務・権限の移譲や地方税財政の充実強化等について、全国知事会や県地方六団体等と連携し、国等への働きかけを行う。
- 2 関西広域連合構成県として、新型コロナウイルス感染症対応のほか、公設試の連携強化など新たな広域事務の検討を進める。また、国出先機関等との連携を強化し、国からの事務・権限の移譲を強力に求めていく。
- 3 県規制改革推進会議において、社会構造や経済情勢の変化に対応できず地域活性化の支障となっている県及び市町の規制の見直しや、県民サービスの向上につながる行政手続の簡素化等に取り組む。

令和3年度 政策創生部長の重点目標

重点目標 1 新しい将来ビジョンの策定

- 1 幅広い県民の参画を得ながら、「将来構想試案」を叩き台として、県全体の将来像を示す「新全県ビジョン」と、各地域の将来像を示す「新地域ビジョン」の検討を進め、年度内に策定する。

重点目標 2 デジタル化の推進

- 1 県内でのイノベーションの創出や事業活動の生産性向上に向けたデジタル革新を加速させる。その推進方針を定める「ひょうご・データ利活用プラン」を改定する。
- 2 「行政手続オンライン化推進計画」に基づく業務の簡素化・効率化や「テレワーク兵庫」の活用による在宅勤務支援など、庁内のデジタル化を推進する。

重点目標 3 地域創生の展開

- 1 五国の個性や強みを活かした二地域居住やワーケーションといった新たな働き方・暮らし方の実践、地場産業を担う若手クリエイターの受入・育成、神戸・阪神地域臨海部への集客・交流施設の集積促進など、地域プロジェクトを推進し、人口の社会増を図る。
- 2 移住希望者のお試し移住やテレワークの取組を支援し、県内への移住を促進する。また、新たに開設したカムバックひょうごセンター・大阪サテライトも活用し、大阪府への転出超過の改善をめざす。
- 3 人口流出抑制に対する効果的な施策立案の基礎とするため、兵庫における人口の社会減要因を調査分析する。

重点目標 4 活力と魅力ある地域づくりの推進

- 1 県・市町連携のもと、地域再生大作戦未実施集落の調査に着手し、大作戦の面的拡大、全県展開を図る。また、都市部からの関係人口の拡大や集落支援人材の育成を通じて、新たな担い手の創出を図る。
- 2 独自の県の成り立ちや五国の多様な地域資源を発信する「兵庫津ミュージアム」の整備及び開館準備を進める。また、全国最多を誇る日本遺産の活用や鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた活動など、個性を活かす地域づくりを推進する。
- 3 再生可能エネルギーを水素として貯蔵し、非常時の電力供給に活用する地産地消モデルの調査研究など、水素社会を先導する取組を推進する。

重点目標 5 科学技術基盤を活かしたイノベーションの創造

- 1 3月に供用開始した富岳の産業利用の促進に向け、FOCUS スパコンの提供による企業の技術高度化支援やミニ富岳の機能強化による富岳トライアル利用を支援する。また県外高度人材との交流や人材育成など、県内への先端人材の集積を促進する。
- 2 県内企業の新技術・製品の開発を促進するため、県放射光研究センターを拠点とした放射光の産業利用支援に取り組む。また、放射光とデータ科学の融合利用による企業の革新的材料開発に向けた企業人材の育成やM I（材料情報科学）の活用支援に取り組む。

重点目標 6 県民文化の創造

- 1 第3期芸術文化振興ビジョン（計画期間：令和3～7年）の基本目標「芸術文化立県ひょうご」の実現に向け、人材育成と新たな技術（ICT）の活用や本物の芸術文化に親しめる環境の充実などに取り組む。
- 2 芸術文化センターにおいて佐渡裕芸術監督プロデュース喜歌劇「メリー・ウィドウ」等上演するほか、陶芸美術館、尼崎青少年創造劇場、横尾忠則現代美術館、原田の森ギャラリーにおいて、魅力ある公演、企画展など、多彩な事業を展開する。

令和3年度 県民生活部長の重点目標

重点目標 1 県民の参画と協働の推進と安全安心なくらしの実現

- 1 参画と協働のさらなる展開とポストコロナ社会の新たなライフスタイルの推進に向け、県民生活審議会からの提言のとりまとめを行う。生活創造センター・文化会館等拠点施設を着実に運営するとともに、県内7ヶ所の高齢者大学でアクティブシニアの多様なニーズに対応した学びの充実を図るなど、県民の生涯学習活動を支援するほか、ふれあいフェスティバル in 神戸で県民活動の元気を発信する。
- 2 ライフステージ等に応じた消費者教育や消費者活動支援を行うとともに、消費生活相談対応力を強化し、事業者の監視・指導など消費者の安全・安心確保を図る。また、消費者庁新未来創造戦略本部と連携し、ポストコロナに対応した消費生活を推進する。
- 3 社会情勢の変化を踏まえ、第6期地域安全まちづくり推進計画を策定する。子どもの安全安心確保事業や防犯カメラ設置補助事業などの支援等により、地域主体の安全で安心なまちづくり活動を推進する。また、性被害ケアセンター「よりそい」による支援など犯罪被害者等の支援の充実を図るとともに、国、市町など関係機関と連携し、出所者の就労・福祉支援など再犯防止対策を推進する。
- 4 第11次兵庫県交通安全計画を策定の上、「ストップ・ザ・交通事故」県民運動により、交通安全対策を推進する。自転車の交通安全対策、高齢運転者の事故防止対策に取り組むとともに、信号のない横断歩道での一時停止を推進する横断歩道合図運動を展開する。

重点目標 2 女性活躍・家庭応援の推進と青少年の健全育成

- 1 「男女共同参画社会づくり条例」や「ひょうご男女いきいきプラン2025」に基づき施策を推進するとともに、「第7次ひょうごアクション8」の庁内での推進に努める。また、ひょうご女性の活躍推進会議を核とし、女性の企業における活躍並びに本県への定着に取り組む。
- 2 「家庭応援と地域づくり推進プログラム」に基づき、全庁で連携を図りながら、家庭応援と地域づくり施策を総合的に推進する。家庭応援の気運醸成や地域祖父母モデル事業など、各般の施策を総合的に推進する。また、出会い支援事業については、スマートフォンを活用した婚活への対応や、民間婚活事業者との連携による出会い事業等により、会員数及び成婚数の増加に向けた一層の取組を推進する。
- 3 青少年への安全・安心なインターネット利用対策として、引き続きフィルタリングの利用促進やルールづくりの推進に取り組むとともに、ひきこもり相談支援センターの運営やひきこもりサポーターの育成など支援策の充実を図る。また、島田叡元沖縄県知事生誕120年および兵庫・沖縄友愛50周年の節目に、友愛の歴史や絆を周知し、次世代に命や平和の尊さを伝承するため、交流事業を実施する。

令和3年度 防災部局の重点目標

重点目標 1 新型コロナウイルス感染症への対応

- 1 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置・運営し、医療・検査体制の強化のほか、外出自粛や感染防止対策の徹底の要請など、県民・事業者の協力を得ながら感染拡大の防止に全庁一丸となって取り組む

重点目標 2 ポストコロナにおける総合的・体系的な避難対策等の推進

- 1 コロナ禍における自然災害への備えとして、福祉避難所の確保を推進するため、福祉避難所として協力を求める民間社会福祉施設に対する認証制度を創設するとともに、入所者と避難者との動線分離等に必要な改修支援を実施
- 2 県民一人ひとりの主体的な避難行動を促進するため、逃げ時や避難場所等を予め決めておく「マイ避難カード」の作成を全県に展開。また、新たな機能を盛り込んだ「ひょうご防災ネットアプリ」を運用
- 3 避難行動要支援者の避難支援を強化するため、「災害時要援護者支援指針」を改訂するとともに、防災と福祉の連携による個別支援計画作成促進事業を実施し、実効性の高い個別支援計画の作成を推進
- 4 災害時における情報収集力を強化するため、最新の技術を活用して、より迅速に、緊急性・正確性・信憑性の高い情報を収集するとともに、災害時に強い衛星通信回線を構築し、防災情報の高度化を推進

重点目標 3 実践的な防災訓練

- 1 市町、県民局等とも連携し、自然災害や危機事案を想定した災害対策本部や事務局の運営訓練、参集訓練など、実効性ある訓練を実施（通年）
- 2 近畿2府7県や市町及び防災関係機関等と連携し、近畿府県合同防災訓練を実施（12月 緊急消防援助隊ブロック訓練と同時開催）するとともに、南海トラフ地震及び日本海沿岸地域地震津波浸水想定区域（18市町）において、一斉避難訓練を実施（11月）

重点目標 4 地域防災力の強化

- 1 広域防災センターの機能を拡充し、防災リーダーや自主防災組織など多様な防災人材の育成拠点とするため、宿泊施設の整備を進めるとともに新たな研修プログラムを開発
- 2 企業の防災組織が行う消防団等との連携・協働への支援、企業・若者等への消防団PR事業、女性消防団員活性化事業を実施
- 3 自主防災組織の活性化を図るため、自主防災活動を担うリーダーを育成するとともに、自主防災組織が行う訓練を支援

重点目標 5 「震災を風化させない」取組の推進

- 1 「ひょうご安全の日のつどい」や「減災活動の日」等の取組を継続実施
- 2 展示改修によりリニューアルオープン（4月）する「人と防災未来センター」東館3階を活用し、県民の防災・減災意識の向上と災害文化の定着を推進
- 3 普及専門員による各地域での普及活動や、都市部主要駅でのデジタルサイネージ広告等の地域やターゲットを絞った重点広報など、「兵庫県住宅再建共済制度」普及のための取組を展開

重点目標 6 広域防災対策の充実

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の検証結果等を踏まえ、関西防災・減災プラン（感染症対策編（新型インフルエンザ等））等を改訂し、広域的な危機管理体制の強化を推進
- 2 防災庁の創設に向けた国への提案活動やシンポジウム等の開催など、国や国民、関係機関等の理解を得るための情報発信を積極的に展開

令和3年度 健康福祉部の重点目標

重点目標 1 新型コロナウイルス感染症など感染症等対策の推進

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、入院病床や宿泊療養施設を確保するとともに、社会福祉施設、医療機関で陽性者が確認された場合、幅広く検査を実施し、クラスター化の防止を図る。
- 2 ワクチン接種については、医療従事者等への接種体制や副反応にかかる専門相談体制の確保、市町が行う住民接種への支援など、円滑に接種を実施できる体制を構築する。
- 3 がん対策の推進では、「がん対策推進条例」のもと、がん予防や早期発見の推進、がん医療の充実、がんに罹患しても安心して暮らせる環境の整備など総合的ながん対策を推進する。

重点目標 2 地域医療の推進

- 1 医療機関の役割分担と連携を強化するため、地域医療構想調整会議における議論の活性化を支援するとともに、医療機関の再編統合、病床の機能集約を伴う病院整備や病床規模の適正化等への支援を通じて、地域医療構想の実現に向けた取組を推進する
- 2 「保健医療計画（全県版・圏域版）」に基づき、救急・災害・小児周産期・へき地等「5疾病・5事業及び在宅医療」の医療提供体制の充実強化を図るとともに、在宅医療に関わる多職種のネットワーク化や訪問看護ステーションの機能充実を図るなど、在宅医療の取組を強化する。

重点目標 3 生涯を通じた健康づくりと認知症施策の推進

- 1 特定健診の分析結果から地域課題を見える化した「健康づくり支援システム」の市町での活用を促進するとともに、特定健診・医療・介護データとAIを活用し、個人の将来の疾病や介護リスクを予測するシステム開発に取り組む。
- 2 健康づくり推進条例に基づく「健康づくり推進プラン（第3次）」を策定するとともに、食の安全安心と食育に関する条例に基づく「食育推進計画（第4次）」を策定する。
- 3 認知症の本人からの発信が増えるよう「認知症希望大使（仮称）」を任命し、普及啓発活動等により、地域支援ネットワークの充実を図るとともに、認知症疾患医療センターと市町等地域が連携した軽度認知障害(MCI)の支援体制構築モデル事業を実施し、認知症の予防・早期発見の取組を強化する。

重点目標 4 医薬品等の安全対策の推進

- 1 薬物療法の有効性・安全性の向上を図り、患者本位の医薬分業を実現するため、改正医薬品医療機器等法により新たに導入される「地域連携薬局」制度の周知徹底を図るなど、かかりつけ薬剤師・薬局の定着等を促進する。
- 2 「薬物の濫用の防止に関する条例」等に基づき、大麻等薬物の危険性に関する正しい知識の啓発強化に取り組む。

重点目標 5 生活衛生の推進

- 1 食品衛生法の改正を踏まえ、HACCP導入講習会の開催など小規模事業者に対する「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」の導入支援に取り組むほか、食の安全安心推進計画（第4次）（令和4年度～8年度）を策定する。
- 2 「動物愛護管理推進計画」及び「猫の適正管理普及推進のためのガイドライン」に基づき、動物愛護思想や適正飼養の普及啓発を推進するとともに、動物愛護センター三木・但馬・淡路支所のリニューアルを行う(令和4年3月竣工予定)。

令和3年度 福祉部長の重点目標

重点目標 1 地域福祉力の向上と社会福祉基盤の充実

- 1 社会福祉法人に対して効果的な指導監査を行うとともに、財務状況等に問題を抱える法人の経営破綻等の未然防止に取り組む。また、「社会福祉連携推進法人」制度の施行に向けた準備を進める。
- 2 第4期地域福祉支援計画に基づき、地域福祉の向上を図るとともに、市町が推進する重層的支援体制整備事業や、地域生活課題の解決に資する包括的な支援体制の整備に対して、後方支援を実施する。
- 3 新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮している方に対して、生活福祉資金の特例貸付を実施するほか、生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度により、機動的かつ弾力的に支援を行う。
- 4 人権尊重の理念について県民の理解を深めるため、「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づき、部落差別や北朝鮮による拉致問題、インターネット上の人権侵害、性的少数者への偏見・差別、新型コロナウイルス感染症に関連する人権侵害など、多様化する人権課題に対応した啓発活動に取り組む。
- 5 第2期国民健康保険運営方針に基づき、国保財政の安定した運営に努め、将来的な保険料水準統一（同一所得・同一保険料）に向け、医療費適正化、収納率向上等の取組を市町と連携して進める。また、特定健診受診率向上対策や国保「外」を活用した取組など市町の予防・健康づくりへの支援を強化する。

重点目標 2 高齢者の安心確保

- 1 第8期介護保険事業支援計画に基づき、地域ニーズを踏まえた特別養護老人ホーム等の整備、定期巡回・随時対応サービス、看護小規模多機能型居宅介護事業所等の在宅サービスの参入支援など介護基盤を整備する。
- 2 高齢者等の地域住民や外国人等多様な人材の介護分野への参入、処遇改善加算の取得、各種の資格取得支援を通じたキャリアアップや労働環境改善等総合的な介護人材確保対策を推進する。また、OJT研修への支援や若年層への啓発等、特に人材不足感の大きい訪問系サービスを支える介護人材確保に向けた取組を行う。
- 3 介護ロボット・ICTの導入支援、効果的な活用を進めるモデル施設の育成など、介護現場における生産性やサービスの質の向上を図る。

重点目標 3 子ども・子育て支援の充実

- 1 「ひょうご子ども・子育て未来プラン(2020~2024)」のもと、安心して子育てできる兵庫の実現を目指し、若者世代への就労・結婚・子育て支援を充実させるなど、少子対策及び子育て支援の取組を推進する。
- 2 保育所や認定こども園等の整備・運営支援、保育人材の確保に取り組むとともに、保育マイスター養成事業などの研修事業等により、保育の質の確保・向上を図る。幼児教育・保育の無償化など子育て世帯の経済的負担を軽減に加え、在宅育児世帯のより積極的な支援のため、専門職によるアトリーチ型の相談を実施する。
- 3 一時保護所の新設や既設一時保護所の整備検討等こども家庭センターの相談機能体制強化、医療機関とのネットワーク構築に取り組むなど、地域全体で虐待から子どもを守る体制の強化をめざす。また、「県社会的養育推進計画」に基づき、里親・特別養子縁組制度の推進など社会的養育の充実に向けた取組を行う。

重点目標 4 ユニバーサル社会づくりと障害者のくらし支援

- 1 手話通訳士等の養成講座や失語症者向け意思疎通支援者養成事業の拡充など情報取得等の支援に取り組む。農福連携の推進や在宅障害者と企業等を結び ICT を活用した在宅ワーク支援機関の拡充等により障害者の就労を支援し、東京2020パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西を見据えた障害者スポーツの推進、障害者総合トレーニングセンター(仮称)の整備、芸術作品の常設展示など、障害者の多様な社会参加を促進する。
- 2 障害福祉実施計画の着実な推進を図るとともに、ポストコロナの新しい生活様式を考慮したひょうご障害者福祉計画を策定する。また、障害福祉サービス等の質の確保・向上に向けた専門人材の養成・スキルアップに取り組むほか、医療的ケア児が地域において適切な支援が受けられる基盤の整備、ひきこもり者やその家族等への電子媒体を活用した交流の場の創設等、支援体制の充実強化を図る。
- 3 一人ひとりがかけがえのない個人として尊重される「自殺のない社会」をめざして、市町や関係団体等と連携し、相談体制の充実や地域の相談支援ネットワークの構築、地域レベルの実践的取組を支援のほか、新型コロナウイルス感染拡大に伴う不安や孤独、経済生活の悩み等に対応するなど自殺対策を総合的に推進する。

重点目標 1 産業競争力の強化

1 起業・創業の活性化

スタートアップ・エコシステム・グローバル拠点都市の形成に向け、起業プラザひょうごを軸に、UNOPS・GIC(グローバル・イノベーション・センター)や大学との連携により、スタートアップの育成プログラムを推進。またピッチコンテスト、スタートアップファンド、県内コワーキングと連携した集中イベント等により、スタートアップを支援。

2 次世代産業の育成

最先端分野の産学官連携による研究開発プロジェクトを支援。また、播磨、阪神、但馬でスマートものづくりセンターを整備するなど、デジタル技術導入の相談・指導・人材育成機能を拡充。そのほか、ドローンの先行的利活用を進め、次世代産業の競争力を強化。

3 国内外からの産業立地の推進

生産拠点の国内回帰の機運を捉え、産業立地条例に基づく幅広い立地支援策を展開するとともに、「兵庫情報スーパーハイウェイ」も活用しつつ、企業誘致等を促進。さらに、外国企業向け一次進出プロモーションの実施などにより、戦略的な外国・外資系企業立地を促進し、本県産業の活性化と雇用の創出を推進。

4 地域を支える産業の振興

コロナ禍に対応し、融資制度の充実等により、中小企業者の資金繰り支援に万全を期すとともに、感染拡大防止のため、時短協力金の適切な支給を進める。あわせて飲食店のテイクアウトなどの新事業展開支援や商店街お買い物券等、消費喚起策を実施。そのほか、地場産業のブランド力海外展開強化や、商店街の魅力づくりにより、幅広く地域産業を活性化。

重点目標 2 産業人材の確保・育成

1 地方回帰の機運を捉えた県内就職の促進

首都圏等からのUJターンを促進するため、「カムバックひょうごハローワーク」の相談体制を拡充し、県内企業における就業体験と短期滞在をあわせて斡旋するとともに、マッチングサイトを通じた企業・求職者の双方向による交流機会の充実など発信機能を強化。

2 情勢の変化に対応した雇用の維持・確保

離職者に対し雇用・就業の機会を確保するとともに、早期再就職に向けて多様なニーズに即した職業訓練を実施。また、雇用維持を図るため、在籍型出向による企業間の人材融通を推進。

3 多様な主体の就労促進

女性文系人材が活躍できる業務の仕分けや啓発の強化を通じ、女性のものづくり分野への就業を促進。ひょうごしごと・情報広場でミドル・シニア等世代個々の実情に応じた就労支援を実施。さらに、県ジョブコーチ制度の本格実施により、障害者の就業・定着を促進。

重点目標 3 交流の拡大

1 新たなツーリズムの創出

ひょうご観光本部を中核に、日本遺産等の重点テーマに沿った体験コンテンツ開発による旅の高付加価値化、陸海空交通と連携したプロモーションなどを通じ誘客を促進。おみやげ購入券等の需要喚起策を展開するとともに、インバウンド再開にも備え、海外に魅力を発信。

2 国際交流の深化

令和2年度に改定した指針に基づき、多文化共生ネットワーク会議を設置するなど、グローバルな多様性を活かし包摂性に富んだ多文化共生社会の実現を推進。また、周年記念事業の開催等を通じて、友好・姉妹州省ほか世界の各地域との交流を推進。

令和3年度 農政環境部の重点目標

重点目標 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

- 1 スマート化による新しい農林水産業の実現
 - (1) 経営規模拡大や生産・販売体制の効率化を図る経営体へのスマート農機導入や、圃場・経営管理ソフトを活用した経営のスマート化、専門人材の確保を支援
 - (2) スマート農業の産地導入モデルの確立、民間農機メーカー等と連携した実演会開催等
- 2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開
 - (1) 環境制御ハウスの導入支援の強化（面積要件の拡充、モニタリング機器等の整備支援）
 - (2) 新規就農者の確保・定着支援（経営収支試算システム活用による経営の‘見える化’）
 - (3) 地域協働体制の強化（衛星データ等を活用した不耕作農地対策や、農作業受委託の推進等）
 - (4) ウメ輪紋病被害産地での生産再開への支援、スクミリンゴガイの防除対策の実証・確立等
- 3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化
 - (1) 但馬牛増頭の推進、但馬牛・神戸ビーフの発信力強化（応援大使によるPR動画作成等）
 - (2) 酪農経営の継承者確保（酪農ヘルパー研修）の支援、県産鶏卵・鶏肉の需要拡大
- 4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進
 - (1) 県産木造住宅の設計支援や需要喚起キャンペーン、融資制度の拡充、交通拠点施設の木質化支援、「ひょうご木製品マイスター」登録制度の創設等による県産木材利用の推進
 - (2) 資源循環林造成パイロット事業の推進、県産広葉樹苗木生産者の育成
- 5 豊かな海と持続的な水産業の実現
 - (1) 瀬戸内海での海底耕うん・施肥試験の実施、ナマコ・アジアカエビ等種苗の生産・放流
 - (2) 全国豊かな海づくり大会兵庫大会（令和4年度）に向けたイベント等による機運醸成
- 6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上
 - (1) ECサイト「御食国ひょうご」活用による販路開拓、神戸ビーフ・日本酒・米などの輸出拡大
 - (2) プリュレル国際コンクール(CMB)日本酒部門の兵庫開催等により山田錦等県産酒米の魅力を国内外に発信
- 7 食の安全を支える生産体制の確保
 - (1) 豚熱、鳥インフルエンザ等重大家畜伝染病の発生・まん延防止
 - (2) 畜産GAP（生産工程管理）認証の取得支援（指導員の育成等）

重点目標 2 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

- 1 特色を活かした活力ある地域づくりの推進
 - (1) UJI ターンによる定住・二地域居住や就農促進、農村地域の多面的機能発揮の促進等
 - (2) 都市農業の振興（都市農地の防災空間等としての活用検討、地域住民と共生する都市農業の推進）
- 2 農山漁村の防災・減災対策の推進
 - (1) ため池保全・整備の着実な推進、治山ダム整備や津波高潮対策の計画的な推進
- 3 豊かな森づくりの推進
 - (1) 「ひょうご森づくりサポートセンター」の支援による市町の森林環境譲与税活用業務を推進
 - (2) 「災害に強い森づくり」第4期対策（土留工や簡易流木止め施設の設置等）の推進

重点目標 3 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

- 1 食と「農」に親しむ楽農生活の推進
 - (1) 楽農生活センターの魅力向上、半農半X志向等による楽農生活実践者のさらなる拡大
- 2 「農」と多様な分野との連携強化
 - (1) 農福連携の推進（ワンストップ窓口の開設、農業者を対象とした実践的な研修会の開催等）
 - (2) グリーン・ツーリズム（農山漁村体験）、マリン・ツーリズム（漁業体験見学船等）など観光分野との連携
- 3 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進
 - (1) 直売所の魅力づくり支援など県産県消の推進、卸売市場整備支援による安定供給の確保

令和3年度 環境部長の重点目標

重点目標 1 「脱炭素へ」～2050年CO₂排出量実質ゼロの実現に向け、地球温暖化対策を強化する～

- 1 新・兵庫県地球温暖化対策推進計画の推進
2050年CO₂排出量実質ゼロ、2030年度温室効果ガス削減目標(2013年度比35～38%削減)の達成に向け、条例に基づく事業者指導の強化、“ひょうご版再エネ100”の推進、中小事業所・家庭での再エネ導入支援の強化、適応策の推進等、温暖化対策をさらに推進
水素ステーションの整備費補助を行うとともに、燃料電池自動車(FCV)・燃料電池バス(FCバス)・燃料電池タクシー(FCVタクシー)の導入を促進
- 2 「地域循環共生圏」の創出～再生可能エネルギーの導入拡大～
新計画で引き上げた2030年度再エネ導入目標(80億kWh)の達成に向け、地域再エネ事業のモデル構築、地域団体の事業立上げ時等の取組への補助を推進

重点目標 2 「自然共生」～人と動植物が共存し豊かな自然を守り育てる～

- 1 野生鳥獣の被害防止総合対策の推進
鳥獣対策サポーターの派遣、獣害防護柵の設置や獣害ベルトの整備等、集落における被害対策の体制を整備する鳥獣被害集落ローラー作戦を展開
沓4.6万頭、イノシシ2.5万頭の捕獲達成に向け、生息域が拡大する地域等での捕獲を強化
猟友会の捕獲体制強化と狩猟人材育成を図るため兵庫県立総合射撃場(仮称)の整備を推進
- 2 生物多様性保全の総合的推進
捕獲わなの充実強化等によるアライグマ・ヌートリア対策や、外来昆虫・外来植物等の防除を推進
- 3 豊かで美しい里海としての瀬戸内海の再生
窒素・リンの望ましい海域濃度の達成に向け、工場・事業場での栄養塩供給の取組、下水処理場での季節別運転の継続・拡大、農地・山林等からの栄養塩供給の検討を推進
藻場・干潟の浅場の再生・創出、海底耕うんによる海底改善等、沿岸域の環境保全を推進
瀬戸内法改正を見据え、栄養塩類管理計画の策定を進め、取組を拡大

重点目標 3 「資源循環」～ものを大切に、天然資源の使用をできる限り少なくする～

- 1 廃棄物の発生抑制と再利用・再生利用による資源循環の推進
「プラスチックごみゼロアクション」として、3Rの取組徹底を基本としつつ、ワンウェイプラスチックの削減、代替素材への転換や、条例化により取組を強化
衣料品の効果的なリサイクルシステムを構築するため、研究会の立ち上げ・セミナーの開催、取組促進の条例化検討の他、フードドライブを実施するスーパー店舗等の拡大
- 2 海ごみ対策の推進～海岸漂着物・漂流ごみ等対策～
漂着・漂流・海底ごみの回収・処理、流域圏での発生源対策の徹底、プラスチックごみ対策の強化等、海ごみの着実な回収・処理と排出抑制・リサイクルの推進

重点目標 4 「安全・快適」～水や空気のきれいな安全・快適空間をつくる～

- 1 大気環境の保全
法(R3改正施行)・条例に基づき、アスベスト含有建築物の解体工事等の届出審査・監視を徹底
- 2 環境影響評価(アセス)制度の強化
廃棄物最終処分場の条例対象事業を見直し(R3施行)、自然環境等への配慮を強化
太陽電池発電所の新設・増設について、法・条例に基づく審査を徹底するとともに、森林伐採等を伴う小規模事業について、指針に基づく自然環境調査を指導

重点目標 5 「地域力」～あらゆる主体が地域の特性を生かして環境保全・創造に向けて協働する～

- 1 環境学習・教育の総合的推進
専門人材の育成、体験プログラムの提供等により、県内全ての幼児が一定の専門性を踏まえた環境体験を継続的にできる体制を構築
次代を担う高校生を対象にした「ひょうご高校生環境・未来リ-ダ-育成プロジェクト」や若者の参画のもと「ひょうごユ-ス eco フォーラム」を開催するとともに、リニューアルしたひょうご環境体験館での新たな体験型学習プログラムの実施

令和3年度 県土整備部の重点目標

重点目標 1 自然災害に備える強靱な県土の構築 ~備える~

- 1 南海トラフ地震等に備える地震・津波対策の推進**
「津波防災インフラ整備計画(H26～R5)」、「日本海津波防災インフラ整備計画(R1～R10)」に基づく、着実な津波対策の推進（防潮堤・防潮水門の整備、防潮堤の沈下対策等）
「ひょうご道路防災推進10箇年計画(R1～R10)」の推進（橋梁耐震補強、法面防災対策）
下水道施設の耐震強化の推進（武庫川下流域下水道等）
- 2 頻発する風水害に備える総合的な治水対策の推進**
「河川対策アクションプログラム(R2～R10)」に基づく、事前防災対策の推進（河川改修等の推進、既存ダムの有効活用、中上流部対策、超過洪水に備えた堤防強化、堆積土砂撤去の推進）
「兵庫県高潮対策10箇年計画(R1～R10)」に基づく、防潮堤嵩上げ等の高潮対策の推進（南芦屋浜地区等の緊急対策はR3年度完了予定）
- 3 土砂災害対策の推進**
「第4次山地防災・土砂災害対策計画(R3～R7)」に基づき、人家や要配慮者利用施設、緊急輸送道路がある箇所等で重点的に砂防堰堤等の整備推進、砂防堰堤背後の堆積土砂撤去の推進
- 4 道路の輸送円滑化対策の推進**
迅速な復旧・復興に必要な道路ネットワーク強化の推進（基幹道路・緊急輸送道路等の整備推進、緊急輸送道路の冠水対策等）
- 5 減災のための情報発信の推進**
河川ライブカメラ画像の配信拡充、高潮危険度予測システムの運用地域の拡大等

重点目標 2 日常生活や移動を支える社会基盤の充実 ~支える~

- 1 地域の交流や日々の暮らし、都市の活力を支える道路整備の推進**
地域の交流を支える道路整備の推進（南北道路等の幹線道路、生活道路等）
安心・快適な都市基盤整備の推進（街路事業、連続立体交差事業）
「渋滞交差点解消プログラム(R1～R5)」、「踏切すっきり安心プラン(R1～R5)」に基づく渋滞交差点、問題踏切の解消に向けた取組推進
歩行者・自転車の快適な通行空間の確保（「通学路交通安全プログラム」に基づくハード対策の推進、ひょうごサイクリングモデルルートの自転車走行環境整備（アワイチ）等）
- 2 公共交通の維持・活性化（「ひょうご公共交通10カ年計画(R3～R12)」）**
「ひょうご公共交通10カ年計画(R3～R12)」に基づく、公共交通の維持・活性化（鉄道の利便性向上・利用促進、路線バス等の維持・確保、地域公共交通の再編促進）

重点目標 3 ポストコロナ時代の地域社会をつなぐ基盤の形成 ~つなぐ~

- 1 基幹道路ネットワークの充実強化**
基幹道路の整備推進（「ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(R1～R32)」）
・事業推進（大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線、神戸西バイパス、東播磨道、中国横断自動車道姫路鳥取線、北近畿豊岡自動車道、山陰近畿自動車道、東播丹波連絡道路）
・早期事業化に向けた取組（播磨臨海地域道路、東播丹波連絡道路）
高速道路の有効活用（スマートICの整備推進、大鳴門橋への自転車道設置に向けた取組推進等）
- 2 港湾の機能強化・利用促進**
港湾の機能強化（姫路港（広畑地区等）尼崎西宮芦屋港、東播磨港等）
港湾の利用促進（姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル、港湾施設の更新等）
- 3 空港の有効活用・利便性向上**
関西3空港の最大活用（神戸空港の国際化を含めた機能強化等）
但馬空港の利活用促進（あり方懇話会の取りまとめ、機能強化方針の検討等）
- 4 計画的・効率的な老朽化対策の推進**
「ひょうごインフラメンテナンス10箇年計画(R1～R10)」に基づく着実な施設点検、修繕・更新の実施
播但連絡道路の安全・安心・快適な道路環境の確保（大規模修繕、橋梁耐震対策）

重点目標 4 時代の変化に対応した推進方策

- 1 社会基盤DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進**
建設業の生産性向上を図るため、ICT活用、設計・施工・維持管理や現場管理のデジタル化を推進

令和3年度 まちづくり部長の重点目標

重点目標 1 安全・安心

- 1 安全に暮らせるまちづくり
住宅の耐震化の促進（ひょうご住まいの耐震化促進事業等の実施）
多数利用建築物の耐震化の促進（大規模多数利用建築物の耐震化の促進、中小規模多数利用建築物への補助制度の活用促進）
- 2 安心して暮らせるまちづくり
福祉のまちづくりの推進（宿泊施設の一般客室のバリアフリー義務化、「働く空間チェック&アドバイス」の推進、「まちのチェック&アドバイス」の推進）
住宅確保要配慮者向け賃貸住宅の供給促進（登録、入居支援）
- 3 適切な県営住宅整備・管理の推進
将来の県営住宅のあり方検討の実施
ひょうご県営住宅整備・管理計画の改定（管理戸数の計画的な削減と入居率の向上）
建替事業等の県・市連携に向けた調整（一体的なマネジメントによる建替整備、指定管理業務等の一元化）

重点目標 2 環境との共生

- 1 県立都市公園の利活用の取組
公園リノベーションの推進・民間活力による公園の活性化
有馬富士公園「地球アトリエ」の整備
- 2 自然環境と調和するまちづくり
都市緑化の推進（県民緑税(第4期)を活用した緑化の推進）
淡路花博20周年記念 花みどりフェアの開催
淡路景観園芸学校新展開の推進
太陽光発電施設等の設置の適正化

重点目標 3 魅力と活力

- 1 地域の活力を生み出すまちづくり
まちづくり基本方針の改定
市街化調整区域等における土地利用調整の円滑化・迅速化、特別指定区域における建築物の災害安全基準等の策定
日影規制の合理化（建築基準条例の改正）
市街地整備の推進（神戸三宮雲井通5丁目地区、英賀保駅周辺地区等）
商店街の活性化とまちの再整備の総合的推進（事業者と地域住民等によるまちの再編・再整備の取組を支援）
- 2 地域の魅力を活用したまちづくり
（仮称）空き家活用特区検討会の実施
既存住宅の流通促進（空き家活用支援事業・古民家再生促進支援事業の実施）
優れた景観の創造・保全（景観研成重要建築物等の指定、ふるさとまちなみ景観（重点区域の指定）等の創設）
六甲山遊休施設の利活用等への支援（遊休施設等の改修・建替及び新設費用への補助）
- 3 快適な住まいづくり
住生活基本計画の改定
マンション管理適正化推進計画の策定

重点目標 4 自立と連携

- 1 交流と連携によるまちづくり
オールドニュータウンの再生（再生支援事業の活用）
明舞団地の更なる魅力向上（サブセンター等空き区画の活用等）
- 2 地域の自立に向けたまちづくりへの支援
人間サイズのまちづくり賞の実施
リノベーションまちづくりの推進（実践的な事業を生み出す「リノベーションスクール」開催支援等）

令和3年度 企業庁の重点目標

重点目標 1 産業用地、住宅用地の戦略的分譲推進

- 1 次世代型産業団地の開発
サプライチェーンの構築などのポストコロナの産業動向を見据え、AI・IoTの活用基盤(5G)を備えた次世代型産業団地の整備をひょうご情報公園都市で行うこととし、調整に着手
- 2 新規用地分譲
 - (1) 「ひょうご小野産業団地」の第2期分譲
小野市と連携して整備しているひょうご小野産業団地の第2期分譲を実施
 - (2) 淡路市夢舞台サスティナブル・パーク用地の分譲
淡路島への企業進出の機会を捉え、淡路市と連携して、夢舞台近接地を地域振興拠点として活用するため、売却のための公募を実施
- 3 既存用地分譲
 - (1) 産業用地(播磨科学公園都市、淡路津名地区)
各種インセンティブ制度、企業誘致成約報奨金制度の活用や企業立地調査員の配置により企業誘致活動を推進
 - (2) 住宅用地等(神戸三田国際公園都市(三田カルチャータウン)、潮芦屋、播磨科学公園都市)
ポストコロナ社会を見据えた都市部からの住み替え等の住宅需要を取り込むべく、インセンティブを創設し、販売を促進

重点目標 2 安全・安心な水道・工水の安定的供給

- 1 水道用水供給事業
 - (1) 7ダムを水源に5浄水場から25市町へ安定的に水道水を供給
 - (2) アセットマネジメント推進計画に基づき、施設・設備の維持更新を計画的に実施
 - (3) 渇水や災害、事故による断水リスクに備えるため三田西宮連絡管を整備
- 2 工業用水道事業
 - (1) 揖保川第1、第2、市川、加古川の4つの工業用水道により、播磨工業地帯100事業所へ工業用水を供給
 - (2) アセットマネジメント推進計画に基づき、施設・設備の維持更新を計画的に実施

重点目標 3 地域活力を創造する取組

- 1 地域の振興
 - (1) グランドニッコー淡路を中心とした淡路夢舞台の運営を通して、北淡路地域の振興を推進
 - (2) コロナ禍においても好調なゴルフコースを中心に、テニスコート、スポーツホテルを有する青野運動公苑の運営により、北播磨地域の振興を推進
- 2 SDGs実現に向けた取組
 - (1) 再生可能エネルギー普及拡大への貢献、保有資産の有効活用等のため、大型太陽光発電施設、小水力発電を運営
 - (2) 播磨科学公園都市におけるメタネーションガス(H₂とCO₂でCH₄を合成)実用実験の推進

重点目標 1 新型コロナウイルス感染症対策

県民の命を守る最後の砦としての使命を果たすべく、新型コロナウイルス感染症拠点病院である加古川医療センター、新型コロナウイルス感染症重症等特定病院である尼崎総合医療センターを中心に、重症者対策の強化を図るとともに、第二種感染症指定医療機関の指定を受けている丹波医療センター、淡路医療センターをはじめ、その他の病院でも地域の医療体制の状況等を踏まえ、患者受入等を実施する。

また、加古川医療センターの臨時重症専用病棟の活用、院内感染防止策の推進等、感染患者の積極的な受入に全力で取り組む。

重点目標 2 より良質な医療の提供

高度専門・特殊医療を中心とした政策医療をより効果的かつ効率的に提供するため、積極的にかんゲノム医療を提供するなど、診療機能の高度化を図る。

また、休日や夜間帯など、個々の病院では読影対応が手薄な時間帯でも的確な医療が提供できるよう、県立病院間でネットワークを構築し、遠隔で画像診断を行う。

姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編して整備するはりま姫路総合医療センター（仮称）について、令和4年度上期の開院を目指し、建設工事を推進する。また、西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編新病院は、令和7年度の開院を目指し、基本・実施設計を推進する。さらに、がんセンターについても、令和7年度の開院を目指し、基本設計に着手する。

重点目標 3 安心できる県立病院の実現

医療資源を有効に活用し、効果的かつ効率的に医療サービスを提供するため、県立病院間及び他の医療機関との連携を強化するとともに、医療機能の分化、必要な診療機能の見直し等にも取り組んでいく。

また、医療安全対策をなお一層推進するとともに、インフォームド・コンセントの充実等、医療の信頼性の向上を図る。

さらに、様々なメディアを活用した分かりやすい情報発信を積極的に実施し、県立病院の診療機能や役割等の周知を図るとともに、患者の負担軽減、早期退院の促進に向けた入退院支援機能の充実にも取り組んでいく。

重点目標 4 持続可能な経営の確保

給与費や薬品費・診療材料費の増などの収支構造の変化により、引き続き経常赤字が見込まれる。赤字体質から脱却を図るため、民間コンサルを活用した経営再生本部など、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組み、持続可能な経営の確保に努める。

収益面では、設備やスタッフなど高度専門医療に係る機能を十分に活用すること等により患者の受入促進に努めるとともに、入退院支援センターの充実やクリニカルパスの見直しにより平均在院日数の適正化を図るなど、診療機能に見合う収益を確保する。

費用面では、高度専門医療に必要な薬品や診療材料等の低廉な価格での購入や、後発医薬品の使用拡大、業務委託の見直し等を行い、費用の抑制に取り組む。

重点目標 5 安定した医療提供体制の確立

医療機能の高度化・専門分化や、新病院の機能充実等を図る観点から、課題に応じた組織の見直しや職員の適正配置を行う。

また、県立病院群のスケールメリットを活かした研修制度の充実による多様な医師確保対策を推進するとともに、看護師確保対策では、地域偏在対策や新病院整備に伴う増員に対応するための修学資金制度の実施など、安定的な看護師確保に努める。

また、医療を取り巻く環境変化に迅速かつ的確に対応し、求められる専門性を備えた職種・人員の確保策を検討するとともに、長時間労働の是正や休暇の取得促進、ワークライフバランスへの配慮など、働き方改革を推進する。

令和3年度 教育委員会の重点目標

重点目標 1 「未来への道を切り拓く力」の育成

1 小・中学校9年間を見据えた取組の推進

国の動向を踏まえ、35人学級編制や少人数学習集団の編成等今後のあり方について検討するため、新学習システムあり方検討委員会を開催するとともに、実践研究に取り組む。

2 魅力と活力ある高校づくりの推進

(1) 少子化等の社会変化に対応した魅力と活力ある高校づくりを推進するため、「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会報告書」(令和3年3月)に基づき、普通科等の魅力・特色づくりに関する具体的方策や、適正規模と配置に関する全体計画について検討し、実施計画を策定する。

(2) Society5.0時代において未来を創造する力を備えた人材を育成するため、異なる分野を総合的に学習し、文理を横断した複眼的視野により創造力や課題解決能力を高める「STEAM教育」を推進し、モデル校によるカリキュラムの検討や中学・高校に向けた広報を実施する。

重点目標 2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた教育活動の実施

1 全ての教育活動(社会教育活動を含む)におけるICTの推進

令和2年度に整備したICT環境を効果的に活用し、Society5.0の新しい時代に必要な資質・能力を育むため、教員のICT活用指導力の向上や、各教科等における学習活動の充実を図る。

2 学校・家庭・地域の連携強化

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支えるため、「学校の新しい生活様式」に基づく感染症予防対策等の実施を含めて、学校を支えるPTA、家庭、地域等との連携を強化する体制の構築に取り組む。

3 児童生徒の心のケアへの配慮

長期にわたる臨時休業など、これまでに経験したことのない事態への不安や恐れなど心理的ストレスを抱えている児童生徒に対する心の理解とケアに引き続き留意するため、スクールカウンセラー・キャンパスカウンセラー等の活用、SNSによる教育相談体制の構築に取り組む。

重点目標 3 ゴールデン・スポーツイヤーズにおけるスポーツの振興

1 競技スポーツ・生涯スポーツの振興

(1) スポーツ振興や地域の活性化などにつなげるため、東京オリンピック聖火リレーや海外チームによる事前合宿の受け入れを行う。

(2) ワールドマスターズゲームズ2021 関西の2022年開催に向けた機運醸成や具体的な準備を進めるため、節目イベントやリハーサル大会、PRイベントを開催するとともに、ボランティアセンターを設置し研修等を実施する。

2 ゴールデン・スポーツイヤーズのレガシーの継承

令和3年度で期間が満了する兵庫県スポーツ推進計画について、ゴールデン・スポーツイヤーズのレガシーの継承や、地域スポーツの活性化等を進めるため、国のスポーツ振興計画等を踏まえ新たな計画を策定するとともに、新たなスポーツ振興事業を検討する。

令和3年度 神戸県民センターの重点目標

重点目標 1 芸術を活かした新たな魅力づくり

県・神戸市連携のもと、ミュージアムロード・HAT神戸一帯を海・山・アートが一体的に楽しめるエリアとしてより一層の魅力づくりを進めるなど、芸術を活かした新たな魅力づくりを推進する。

- 1 海・山・アートをつなぐ新たな観光エリアの創出（新たなアート作品の完成披露イベント・セルフツアー促進に向けた環境整備）
- 2 日本のジャズ発祥のまち神戸にちなんだジャズイベントの開催

重点目標 2 六甲山など自然を活かした賑わいづくり

六甲山のさらなる賑わいを創出するため、屋外レジャーのためのタイムリーな情報提供やイベント情報発信の充実を図るとともに、新たな六甲山の魅力づくりに向け「六甲山ヒルクライム大会（仮称）」の開催準備を進めるなど、自然を活かした賑わいづくりを推進する。

- 1 ビジターセンターを拠点とした六甲山の自然や魅力の発信強化（ライブカメラ等による情報発信、山の案内人による六甲山自然探索の実施）
- 2 六甲山ヒルクライム大会（R4年度）に向けた準備

重点目標 3 歴史的遺産を活かした新たな賑わいづくり

兵庫津ミュージアムプレオープンや、湊川隧道の一般公開20周年を好機として、歴史・産業遺産を活かした魅力づくりを推進する。

- 1 西部3都（新開地・兵庫津・新長田）を巡るワンデーマーチの開催
- 2 兵庫津ミュージアムプレオープン連携事業の実施
- 3 湊川隧道一般公開20周年記念トンネルサミットの開催

重点目標 4 農都・神戸の推進

都市と「農」が近接している神戸地域の特性を活かした「農都・神戸」の推進に向け、先端技術を積極的に導入したスマート農業や神戸産農畜水産物やその加工品の魅力づくりを進める。

- 1 農の神戸スマート化作戦（ICT等先端技術の導入による母牛の繁殖管理の推進、遠隔探査（リモートセンシング）を活用した山田錦の品質向上）
- 2 農の神戸ブランド創出作戦（新ジャンル・チャレンジプロジェクトの推進）

重点目標 5 安全・安心な地域づくり

近年頻発している集中豪雨など自然災害に備えるため危険箇所の整備事業や啓発活動を行うとともに、地域での見守りの強化や鳥獣被害対策など、安全・安心な地域づくりに向けた取組を進める。

- 1 自然災害に備える取組の推進（河川、ため池、急傾斜地等における防災・減災対策等）
- 2 地域防犯活動の支援（地域安全応援事業）
- 3 六甲山イノシシ被害対策の推進（防護、捕獲、普及啓発を柱とする総合的な対策の実施）

重点目標 6 対話と協働による地域づくり

住民主体の地域づくりを推進するため、市民の声を県政に反映し、コロナ禍で困難に直面している広域的な地域活動への支援を行うとともに、多様な県民の参画と協働のもと、地域ビジョンの推進と新地域ビジョンの策定に取り組む。

また、地域との連携によりふれあいフェスティバルを開催し、神戸地域の魅力を広く発信する。

- 1 神戸市民と語る集いの開催（自治会、婦人会、老人クラブ、神戸青年会議所）
- 2 地域団体による交流活動への支援（広域的な地域活動推進事業）
- 3 ビジョン委員会の活動支援や新たな神戸地域ビジョンの策定
- 4 ふれあいフェスティバル in 神戸の開催

令和3年度 阪神南県民センターの重点目標

重点目標 1 活力と魅力あふれる阪神南の実現

阪神間モダニズムなどの芸術文化資源、ものづくり産業の集積、市民が主導する市民文化などの地域資源を活かして、地域の交流とにぎわいを創出

- 1 阪神間モダニズム再発見プロジェクトの推進
「阪神間モダニズムセミナー」の開催
阪神間の美術館連携によるG U T A I再発信事業
伝統芸能等の鑑賞促進事業
- 2 マイクロツーリズムの振興など交流の拡大及びにぎわいの創出
スペシャリストと巡る阪神間マイクロツーリズムツアーの実施
日本遺産「伊丹諸白と灘の生一本」等魅力発信事業（フォトコンテスト、ウォークイベント）
阪神地域オープンミュージアム無料開放D A Yの開催
阪神南ふれあいスポーツフェスタ 2021 の開催
大学生による地域活性化支援事業
- 3 ものづくり産業等の活性化
阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業（ホットシステム等導入支援他）
若者向け創業出前講座等の実施

重点目標 2 環境と調和した快適な阪神南の実現

尼崎 21 世紀の森の利活用、自転車を活かしたまちづくり、街路樹リノベーションなどによる快適で暮らしやすい環境づくりを促進

- 1 尼崎 21 世紀の森づくりの推進
「都市養蜂フェスティバル I N 尼崎（仮称）」の開催
東京五輪アスリート地域魅力発信事業
- 2 環境にやさしいまちづくりの推進
サイクリングモデルルート of 環境整備
まちの品格・風格を高める街路樹リノベーション

重点目標 3 安全で安心な阪神南の実現

津波・高潮対策、武庫川流域総合治水対策、土砂災害対策等、安全安心に向けて社会基盤の整備を図るとともに、防災・減災に向けた意識啓発や、医療福祉体制の充実を推進

- 1 尼ロック防災フェスティバルの開催
- 2 阪神南圏域感染症対策事業

令和3年度 阪神北県民局の重点目標

重点目標 1 阪神地域のブランド力が高まる「まち」の創出

都市(近郊)農業や北摂里山等の地域ブランドを生かした「まち」の活性化に取り組む。

- 1 阪神地域ブランド力アップの推進
 - ・阪神間モダニズムセミナーの開催
 - ・スペシャリストと巡る阪神間マイクロツーリズムツアーの実施
- 2 北摂里山サイクルツーリズムの推進
 - ・「ひょうご北摂里山ライド(仮称)」の開催
- 3 阪神アグリパーク構想の推進
 - ・メイド・イン・阪神発信プロジェクトの実施
 - ・阪神産農産物パワーアッププロジェクトの実施
 - 「阪神産」黒大豆枝豆のブランド化と食育を通じた需要拡大 -
- 4 北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)構想の推進
 - ・「ひょうご北摂里山アートフォーラム」の開催

重点目標 2 住み続けたいくなる「まち」の創出

良好な住環境を生かした定住・移住の促進や暮らしやすさを実感できる「まち」の創出に取り組む。

- 1 「ひょうご北摂ライフ」の推進
 - ・ひょうご北摂リモート現地ガイドの実施等情報発信の充実
- 2 ウィズコロナを見据えた安全・安心な飲食店営業者への体制づくり支援
- 3 認知症の人や高齢者などにやさしいまちづくり
 - ・「認知症サポート商店街～ホット、ほほえみ、ストリート～」の普及等
 - ・フレイル予防の推進

重点目標 3 歴史・文化・芸術が息づく「まち」の創出

歴史・文化・芸術を生かした新しいライフスタイルが実現できる「まち」の創出や交流人口の拡大に取り組む。

- 1 阪神間モダニズムが息づくまちづくり
 - ・阪神アートVRミュージアムの構築
- 2 「新宮 晋 アート」の魅力発信
 - ・「新宮晋 風のミュージアム」、「地球アトリエ」構想PRイベントの開催
- 3 阪神疏水プロジェクト～母子大池疏水の保全・活用～の推進
- 4 歴史・文化や景観を生かしたまちづくり
 - ・三田駅周辺散策空間の整備

令和3年度 東播磨県民局の重点目標

重点目標 1 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり

ものづくりをはじめとする様々な分野で、人・もの・情報の交流を促し、新たな知恵と活力を生み出し、魅力とにぎわいを生み出せる地域づくり

- 1 スマートシティの推進：GIGA スクール構想の推進（1人1台タブレットの活用、東播磨寺子屋の開校）、地域 BWA を活用した広域連携の検討（防災、防犯・見守り、買物 DX サービス等）、MaaS の実証実験、スマート農業の導入支援、ICT 建機の体験と開発
- 2 交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築：東播磨道北工区の整備、国道2号(加古川市)の4車線化・対面化、天満大池橋梁部工事着手、渋滞交差点の整備
- 3 瀬戸内周遊魅力アップ事業の実施：明石港砂利揚げ場跡地利用、高砂市臨海部の活用、加古川を生かしたスポーツのメッカづくり
- 4 東播磨ツーリズムファンづくり：VR の活用などスマホ対応の観光情報ポータルサイトの発信、体験型ツーリズムの推進
- 5 東播磨「食」のブランド化大作戦：加古川パスタの全国発信、大麦の商品開発、加古川和牛の普及

重点目標 2 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり ～世界最先端環境都市東播磨～

豊かな水辺空間とその自然環境や歴史・文化を大切に守り、活かし、次世代に継承する取組を更に発展させる持続可能な地域づくり

- 1 「豊かで美しい瀬戸内海」復活大作戦：海底耕耘、かいぼり、水産増殖 等
- 2 世界最先端の環境技術を生かした海洋プラ対策：ボトルをボトルにリサイクル（B to B）、生分解性ポリマー Green Planet の製品作成による技術 P R
- 3 ため池 S D G s の推進：いなみ野ため池ミュージアム 20 周年記念事業の開催、企業と連携したイベントの開催（ロゲイニング等）
- 4 ため池コウノトリプロジェクトの推進：生息環境整備、第3回 WANTED コウノトリの開催
- 5 子どもたちのふるさと魅力大発見：魅力 KIDS 体験ツアー、走る環境学習教室の実施 等

重点目標 3 いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

地域住民一人ひとりが自立し、健康に、安全安心を実感し、自分らしさと生きがいを持って、お互いを認め、高めあえる地域づくり

- 1 「チャレンジショップきずな」の販売力強化による障害者の自立支援
- 2 N P O 等を活用した地域防災スクールの開催
- 3 河川整備等による防災機能の向上：河川整備（水田川、明石川等）、ため池（皿池等）

令和3年度 北播磨県民局の重点目標

重点目標 1 北播磨「農」と「食」の魅力づくり

日本一の酒米「山田錦」、地域特産の「ぶどう」、「黒田庄和牛」、「播州百日どり」、多彩な「巻き寿司」、ローストビーフ等の加工品、良質なヒノキ材など、北播磨のすばらしい「農」と「食」の魅力を広く発信する。また、その生産を支える担い手や産地に対して、品質向上や6次産業化による付加価値の向上等により経営の安定化を図る。

- 1 北播磨「農」と「食」の魅力発信
- 2 北播磨の特産日本酒PR発信事業
- 3 北播磨特産産地化促進事業
- 4 新産地育成に向けた新品種導入チャレンジ事業

重点目標 2 「北播磨」魅力体験ツーリズム等による交流人口・関係人口の拡大

ポストコロナを見据え、北播磨の豊かで多彩な「農」と「食」、自然、歴史・文化、地場産業など、地域の魅力を体験するツアーの実施等を通じて、地域内外の参加者に北播磨の魅力を発信し、北播磨への理解を深め、交流人口や関係人口の拡大を図る。

- 1 北播磨魅力体験ツーリズム
- 2 北播磨サイクル&フットパス推進事業
- 3 JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道の利用促進・活性化の推進
- 4 北播磨交流施設魅力アップ事業

重点目標 3 選ばれ、人が集う、未来の「北播磨」の地域づくり

若者による地域における創造的な活動の支援やふるさと情報の発信等により、ふるさと意識の醸成を図る。また、「農」と「食」の魅力づくりプロジェクトや魅力体験ツーリズムへの参加や参画を通じて、地域に誇りを持った「北播磨」を担う人材の育成、定着を進める。

- 1 高校生による北播磨創生チャレンジ事業
- 2 北播磨地域への移住促進事業
- 3 地場産業活性化支援事業
- 4 北播磨「山田錦」語り部の活動支援

重点目標 4 いきいき暮らせる安全安心な「北播磨」の創出

豊かな自然、歴史・文化等に恵まれた環境のなか、住民、事業者、行政が力を合わせ、いきいきと暮らすことができ、近年、多発する風水害をはじめとする災害に対する防災意識の高揚や地域防災力の向上による安全なまちづくり等、安全で安心に暮らすことができる「北播磨」を創出する。

- 1 北播磨圏域認知症対策事業
- 2 自主防災組織パワーアップ事業
- 3 北播磨「農村地域見守り隊」の育成支援

令和3年度 中播磨県民センターの重点目標

重点目標 1 思わず訪れたくなる中はりま

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」を生かした地域内での滞在・周遊を提案するとともに、豊かな海の幸・山の幸から生まれる食文化を広く発信し、交流人口の拡大を図る。

- 1 自然の中での体験型観光としてサイクリングが注目される中、ひょうごサイクリングモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の完走者への称号授与など地域内外からの誘客に取り組む。
- 2 日本遺産や世界文化遺産・姫路城を生かして、地域内全体への周遊と滞在時間の延長を図るために旅行事業者へのプレゼンテーションや、宿泊を伴うツアー商品提供事業者への補助を行う。
- 3 白鷺サーモン、華姫さわらなど海の幸のブランド化を図るとともに、夢前川流域において農・畜産物を特産品化するほか、漁業体験ツアーや農業体験で都市住民との交流拡大を図る。

重点目標 2 若者・女性が活躍できる中はりま

就職や進学を機に地域から転出した若者や女性、子育て世代等のUJIターンの促進を図るとともに、地域課題や地域政策を検討する会議への高校生・大学生等の参画を推進する。

- 1 AI面接を導入する企業の支援、就職支援サイト「JOB播磨」での情報発信のほか、理系大学生に中播磨の企業を知ってもらうための見学会・合同企業研究会を開催する。
- 2 若い子育て世代等が農業+ の農的暮らし(半農半X等)で地域に定着できるよう、持続可能な地域支援型農業や農泊の取組を支援する。 Xは音楽や芸能活動、テレワーク等
- 3 「銀の馬車道・鉱石の道」沿線の高校生による地域課題解決のためのアイデア提案や、未来フォーラム(地域夢会議)への高校生・大学生等の参加等、若者の県施策等への参画を促進する。

重点目標 3 活気とにぎわいのある中はりま

アクリエ姫路(姫路市文化コンベンションセンター)が今秋オープンし駅周辺の賑わいが期待できる中、産学官連携による“ものづくり”企業の支援や道路網の整備、姫路港の賑わいづくりを進めるとともに、新規就農者を支援し、スマート農業を導入した中播磨農業のパワーアップを図る。

- 1 播磨臨海地域道路の早期実現を目指すほか、高速道路から生活道路にいたる道路網について、選択と集中により効率的・効果的な整備を進める。
- 2 新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全安心なクルーズ客船を姫路港に迎えるとともに、普段は見られない海上の魅力を体験できる姫路港発着の周遊クルーズにより、新たな賑わいを創出する。
- 3 テレワークが困難とされる「ものづくり」企業がポストコロナ時代を生き抜くために、IoT活用などの事例を学ぶシンポジウムを開催し、課題の抽出・共有により解決方法を探る。
- 4 農業の新たな担い手確保、収益力の向上と地域特産品の生産振興を図るため、就農希望者の見学会やセミナーを開催するとともに、地域にあったスマート農業の技術導入を支援する。

重点目標 4 暮らしやすさNo.1の中はりま

地域文化や郷土史、日本文化を次代に伝える事業を実施し、子どもや若者のふるさと意識の醸成や郷土愛を育むとともに、災害に強い社会基盤や、利便性・安全性を高める道路等を整備する。

- 1 先人達の努力や苦勞によって建設され、受け継がれている歴史・文化的・技術的価値の高い中播磨の農業水利施設(水路・ため池・井堰など)を後世へ継承するため、啓発活動等を行う。
- 2 県伝統文化研修館の活用や、地域文化や郷土史等を次世代に伝える地域団体を支援する。
- 3 治水・地震・高潮・土砂対策等にかかる基盤整備、利便性・安全性を高める道路整備を推進するほか、災害時の医療情報の提供や、授産品の販路拡大による障害者の社会参加を促進する。

令和3年度 西播磨県民局の重点目標

重点目標 1 「ひょうごスタイル」を踏まえた播磨歴史回廊構築による交流人口の拡大

定住人口が減少する中、コロナ禍で見直された近場の観光資源として、西播磨の山城や町並みをはじめとする歴史と伝統文化を活用して、交流人口の拡大を図り、地域の活力を高める。

- 1 西播磨山城復活プロジェクトのステップアップ
130以上ある山城や伝統文化体験等を活かし、山城巡り等を「近場で3密にならず健康にもいいレジャー」として普及させ、西播磨地域への更なる誘客を図る。
安全な登山環境の創造（「モデルコースマップ」及び「安全安心マップ」作成）
ゆかりの武将による山城イレブンのイメージ戦略の展開
（ゆかりの武将の物語とイメージキャラクターを用いて、より幅広い層への情報発信）
山城ICTフル活用作戦（山城アプリでの3次元CG再現、動画作成等）
西播磨山城・歴史絵巻モニターツアー（山城を目的地とする企画募集型ツアーの実施）
西播磨山城の眺望復活大作戦（伐採による眺望の改善、登山道の草刈り等の地域活動への支援）
西播磨ツーリズム拠点の整備（山城攻略拠点駐車場や案内標識整備、サイクリング環境整備等）
西播磨の山城をとりまく歴史的建築物等の発掘・発信
（山城をとりまく歴史的建造物等を観光資源として評価・選定し、集約して情報発信）
- 2 「西播磨フルーツ（Eit）」プロジェクト
（旬の果物や収穫体験に関する情報発信、魅力的なスイーツの開発支援、パッケージ商品や年間契約商品の企画・販売支援）

重点目標 2 ポストコロナ社会における自立した地域づくり

地方への回帰の気運を捉え西播磨地域の人口増対策を推進するとともに、地域活性化に取り組む人材の育成や、農林業をはじめとする地域産業の振興を図ることで地域の自立度を高め、活力に満ちた人々の暮らしを創造する。

- 1 西播磨暮らしサポートセンターの運営等
（移住に係る電話相談・面談、移住相談会・空き家見学ツアー（オンライン含む）、オーダーメイド型ツアーの実施）
- 2 西播磨“結婚っていいな！”キャンペーン
（結婚応援企業の登録、縁結び推進員の委嘱、交換日記お見合い、結婚情報サービス（季刊）等の発行）
- 3 アグリビジネス展開サポート（WEBなど新たな販売方法導入支援、生産者と地元企業による応援企業登録制度）
- 4 西播磨フードセレクション2021（第10回。農林水産物を使用した加工食品フェア、「ご飯のお供選手権」）

重点目標 3 自然災害や感染症に備えた安全・安心な社会基盤整備

地域の活力を支え、住民の暮らしを守る社会基盤を整備し、自然災害や感染症に備え、住民が健康で安全に安心して暮らせる地域づくりを推進する。

- 1 播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり
（中国横断自動車道姫路鳥取線、国道179号太子道路、養父穴粟線、穴粟新宮線、太子御津線、赤穂佐伯線、竜泉那波線、上福原佐用線等）
- 2 引原ダム再生事業[堤体嵩上げや放流設備新設等による洪水調節機能の大幅強化]の推進（実施調査等）
- 3 社会福祉施設BCPブラッシュアップ研修会
（「事業継続計画」について、ブラッシュアップ（新型コロナウイルスの課題も含む）するための研修会を開催）
- 4 地域で暮らす障害者収入アップ対策
（「ウイズin西はりま」を中心に、農福連携による農業生産活動の拡大ほか障害者の収入アップ事業を支援）
- 5 地域と連携した西播磨鳥獣対策の推進（効果的なシカ捕獲・防護・利用促進、広域的なカワウ被害対策）

令和3年度 但馬県民局の重点目標

重点目標 1 あしたのふるさと但馬で交流する ~ 交流人口の拡大 ~

コロナに負けない周遊ツーリズムを総合的に推進するとともに、鉱石の道等日本遺産を活用した地域の魅力づくり、山陰海岸ジオパークの取組、コウノトリの棲める郷づくりなど但馬の地域資源を生かした地域活性化の取組を進めることで、「交流人口の拡大」を図る。

1 但馬を巡る周遊ツーリズムの推進

コロナに負けない但馬観光の推進(各種媒体を活用した情報発信強化、ワーケーション推進支援等)
「但馬まるごと感動市・食の祭典 in あさご」の開催
林道を活用した「人と森林をつなぐ道プロジェクト」の推進(アスリート等長期滞在者の呼び込み支援等)

2 地域資源を生かした但馬の魅力醸成

山陰海岸ジオパークの推進(ドローンを活用したデジタルコンテンツの拡充等)
日本遺産を活用した地域の魅力づくりの推進(ウォーキングイベントの実施、フォトリーの開催等)
コウノトリ棲める郷づくりの推進(コウノトリ未来・国際かいぎの開催等)

重点目標 2 あしたのふるさと但馬で暮らす ~ 定住対策の推進 ~

専門職大学と連携して「但馬まるごと芸術の郷」プロジェクトや産業活性化を推進するほか、但馬ブランド農産品の育成強化により、若者等の関心を高めて就業・就農を促進することに加え、オール但馬の情報発信体制を強化し、U・Iターンを促進することで、「定住対策の推進」を図る。

1 但馬暮らしの質を高める地域づくりの推進

「但馬まるごと芸術の郷」の推進
(専門職大学と連携したシンポジウムの開催、豊岡演劇祭と連携した周遊観光の促進等)
但馬地域ビジョンの推進(住民の参画と協働による新ビジョンの策定等)

2 但馬で暮らそう大作戦の推進

但馬U・Iターン400人大作戦の展開(移住マッチングサイトでの情報発信等)
「但馬で働こう大作戦」の推進(学生・生徒・保護者への企業情報発信強化等)
但馬企業の元気アップ推進(夢但馬産業フェアの開催、専門職大学と連携した起業支援等)

3 但馬で育む農林水産資源の展開

コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開(多収穫品種の生産拡大支援、省力化の推進等)
但馬牛の生産基盤強化対策の推進(耕畜連携流通システムの確立、世界農業遺産認定の推進等)
野生鳥獣被害対策の推進(広域捕獲隊による市町境捕獲の実施等)
但馬水産王国再興の推進(但馬産松葉ガニブランドの確立、ネット販売の促進等)

重点目標 3 あしたのふるさと但馬を支える ~ 基盤づくりの推進 ~

但馬における健康長寿社会の実現に向けた医療・介護サービスの提供体制構築や防災・減災対策などを進めるとともに、但馬の骨格を成す基幹道路ネットワークの整備など安全・安心な「基盤づくりの推進」を図る。

1 安全・安心な但馬づくりの推進

但馬圏域での地域医療構想の推進や精神障害者が障害者を支える基盤づくりの推進
介護職の職場定着支援や「ひょうごスタイル」に対応した介護環境支援
防災力の強化(ため池防災安全度の向上、防災サバイバル講座の開催等)

2 但馬の魅力を支える基盤整備の推進

地域活性化の取組を支援するインフラ整備の推進(春來川(新温泉町湯)飛び石設置等)
清流の郷づくり大作戦の推進(魚道づくり体験や放流会の開催等)
北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道など基幹道路ネットワークの整備推進

令和3年度 丹波県民局の重点目標

丹波の森づくりの推進

住民・事業者・行政が一体となり、「自然と人と文化が調和した地域を守り育てていく」という「丹波の森宣言」の4項目をさらに実践していく。

重点目標 1 森を大切に守り育てます

- 1 丹波の里山づくりの促進（モデル団体へのアドバイザー派遣、地域住民の里山づくりの体験促進）
- 2 源流の里の親水空間づくり（水分れ域の生物観察ツアー開催、親水性に配慮した水辺空間づくり）
- 3 先端技術等を活用したスマート農業の推進
スマート農業機器のシェアリングシステム構築や、黒大豆ほ場における灌水支援システム、ロボット除草機の実証実験等

重点目標 2 花と緑の美しい地域づくりを進めます

- 1 桜つつみ回廊の美観保全（長寿命化に向けた保全対策、ドローン空撮 PR 動画による魅力発信）
- 2 たんば三街道主要ポイントの修景（シンボル標柱の改修、景観ビューポイントの整備）

重点目標 3 個性豊かな地域文化を育てます

- 1 恐竜化石フィールドミュージアムの推進
リモート剖出（化石クリーニング）体験、モバイルスタンプラリーの実施、都市部での化石発掘体験会の開催（アウトリーチ事業）、段階別体験（発掘・剖出）プログラムの導入
- 2 四季の丹波「コト体験」による日本遺産等地域文化・歴史資源の活用と魅力発信
- 3 再会！シュ・ベルティア・デたんば（PRコンサート、ガラ・コンサート）

重点目標 4 安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます

- 1 移住・環流へと誘う“たんば暮らし”プロジェクトの推進
ファン交流カフェ・セミナーの開催、お試し滞在の推進、移住コーディネーターの設置、移住相談員等を対象とした研修・交流会の開催
- 2 女性起業家の輩出促進（ビジネススキルアップ塾の開催、起業した卒業生との交流会開催）
- 3 “シリ丹バレー”の創出による地域イノベーションの促進
空き家・廃校等を活用したオフィス・起業家誘致、起業家・移住者・地域住民等をつなぐネットワークの形成、ポストコロナの新しい働き方等を語り合うシリ丹バレー推進セミナーの開催
- 4 TAMBA ブランド農産物の魅力発信（「Hyogo Sake 85」のブランド育成）
6次産業化ステップ講座の開催、生産者のECサイト開設等への支援、三宝ダムトンネルで熟成した各社日本酒の一体的PR、丹波栗等各種フェアの開催
- 5 体験・滞在型プログラムによるマイクロツーリズムの推進
農家民宿の魅力発信とネットワーク形成、四季の丹波「コト体験」コンテンツの充実支援、大丹波連携ドライブスタンプラリーの実施
- 6 サイクルツーリズムの推進（サイクルイベント「兵庫丹波チャレンジ200」、サイクリング環境の整備）
- 7 地域防災力の充実強化（自主防災組織と関係機関の連携研修等）

令和3年度 淡路県民局の重点目標

重点目標 1 訪れたくなる島づくり

淡路島の多様な観光資源を活かし、世界中の人々が何度も訪れたくなる淡路島を実現する。

- 1 「アワイチ」魅力アップの推進（淡路島一周サイクリングルートの走行環境の整備 等）
- 2 「守り、育てる」地域公共交通の展開（淡路島公共交通ポータルサイトの開設 等）
- 3 健康をテーマにしたツーリズムの推進（ウェルネストラベル・ワーケーションの推進）
- 4 食を中心とした地域づくりの推進（令和の御食国「食の島あわじ」のプロモーションの展開 等）

重点目標 2 島を支える産業の振興

先端技術の導入等により農畜水産業の生産性を高めるとともに、淡路瓦や線香等の地場産品の国内外での販路拡大を支援する。

- 1 淡路島たまねぎブランド力向上
（日本農業遺産に認定された農法の普及・PR、GAP（農業生産工程管理）認証の取得支援）
- 2 「淡路島の花」産地力アップの推進（環境制御技術等の新技術の導入支援 等）
- 3 淡路畜産活性化対策の推進（牛舎の環境整備等の取組支援 等）
- 4 地域産業魅力アップの支援（海外現地展示会の参加支援 等）

重点目標 3 すこやかに暮らせる島づくり

人と人、人と自然のつながりを大切にした健康で豊かな暮らしを目指す。

- 1 「EVアイランドあわじ」の推進（自動車教習所への電気自動車(EV)の導入支援 等）
- 2 エネルギーの地産地消の促進（家庭用蓄電池等の導入支援）
- 3 新たな土壌改良材「竹混合ファイバ」による景観の保全（農地・県道等の維持管理の実証 等）

重点目標 4 住み続けたくなる島づくり

ふるさと淡路島の魅力を発信し、淡路島の定着人口の増加を目指す。

- 1 「鳴門海峡の渦潮」世界遺産登録に向けた取組の推進（ルワイエ等の海外類似資産調査 等）
- 2 都市住民の転入促進（あわじ暮らし総合相談窓口の運営、移住リモートツアーの実施 等）
- 3 淡路ふるさと学習の推進（島内小学校での副読本による授業の実施 等）

重点目標 5 安全・安心な島づくり

南海トラフ地震への備えや、治山・治水対策など安全・安心な島づくりを総合的に推進する。

- 1 大規模自然災害の発生に備えた地域防災力の向上
（島内全小中高校でのマイ避難カードの作成促進、全島一斉総合防災訓練の実施 等）
- 2 津波防災インフラ整備計画の推進（福良港湾口防波堤・沼島漁港港口水門等の整備）
- 3 農業用ダム・ため池・水田を活用した総合治水対策の推進（農業用ダムの事前放流等による治水活用 等）